

区立公園 利用ルールの見直しへ

中野区は、中野区公園再整備計画(利用ルールの見直し)に関して、区民2000人を対象に無作為抽出で意識調査を実施しました。その中で、ルールについて「緩和

を求めない声」と「緩和をを求める声」がそれぞれ半数近くを占めました。そのため、これまで通り公園一律に禁止するのではなく、公園ごとの特性を踏まえて個別

公園	利用可能場所	公園	利用可能場所
江古田の森公園	旧北江古田公園の園路	中野上高田公園	野球場
白鷺せせらぎ公園	園路	大和公園	キャッチボールコーナー
桃園川緑道	園路	哲学堂公園	野球場
平和の森公園	犬の広場、一部園路	谷戸運動公園	運動公園
中野四季の森公園	園路	野方ひがし公園	キャッチボールコーナー
本五ふれあい公園	園路	上高田台公園	バスケットボールコーナー
南台いちよう公園	園路	桜山公園	キャッチボールコーナー
本二東郷やすらぎ公園	園路	南台公園	自由広場
広町みらい公園	園路	妙正寺川公園	運動広場
新井薬師公園	喫煙場所	江古田の森公園	旧北江古田公園部分
中野上高田公園	喫煙場所	鷺宮運動広場	運動広場
哲学堂公園	喫煙場所	白鷺せせらぎ公園	多目的運動場
平和の森公園	喫煙場所	南台いちよう公園	多目的運動場
江古田の森公園	喫煙場所	本五ふれあい公園	多目的運動場
白鷺せせらぎ公園	喫煙場所	平和の森公園	多目的運動広場
		広町みらい公園	多目的広場(神田川沿い)

にルールを設けることを検討しています。12月に再整備計画(素案)が議会報告され、その後、区民の方々に対しての意見募集がおこなわれる予定です。現在は、公園の規模や環境などに応じて、左の表のように区分されています。(10月6日 建設委員会資料より)

生活相談より — お気軽にご連絡・ご相談下さい —

今夏の台風時、「自宅前の柳通りで雨水があふれ、玄関に水が入ってきた」と沿道の方から相談が寄せられました。現地を確認すると、右写真のように排水溝の中から土などが出てきました。区の道路担当課に連絡し、調査を依頼。調査の結果、排水溝に土やゴミなどがたまっていることが判明しました。9月中旬に道路一体の清掃がおこなわれました。



▲排水溝にたまった土 ▲清掃の様子



- ◀(左写真) 各支援金や給付金の申請支援
- ◀(中・右写真) 中野共立病院などの有志スタッフが毎月第4木曜日開催している中野駅北口前での「なんでも相談会」。相談員の1人として参加しています



浦野さとみプロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ(40才)。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目(厚生委員会、危機管理・感染症対策調査特別委員会(委員長)に所属)。趣味：竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

(弁護士による無料法律相談も実施中です)

浦野さとみの区政報告

ほっこり通信 No. 99



何でも無料生活相談実施中
e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ: <http://urano-satomi.jp>
浦野さとみ 検索
●Twitter: @urano_satomi
●Facebook: 浦野さとみ



聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



一人ひとりの声の中野区を動かしました 中野区新庁舎、生活保護窓口は一体で

10月15日までおこなわれた中野区議会定例会。今議会で大きな争点となった1つが「新庁舎における生活保護の窓口配置」の問題です。中野区は当初の計画では新庁舎内に配置する予定だったものを二転三転。新庁舎と別施設に、生活保護や保護に係る部署を二分させる計画を示していました。しかし、経過が不透明であること、区民の利便性や働く職員の業務効率性、安全性、コストなど、どの観点からもデメリットしかありません。また、生活保護の窓口のみを別施設に配置するのは、差別に繋がることについても、区民・支援団体・区職員・区議会が一体となって見直しを求めました。

その結果、中野区が定例会中に現計画の見直しを表明し、10月末および11月上旬の所管委員会に「新庁舎内に一体配置する」ことを報告しました。実施設計完了後に計画が見直されるのは異例のことです。一人ひとりが声をあげ、行動したことが、区の姿勢を変えました。区が、様々な声を受け、見直しの決断をしたことは大事なことです。



▲新庁舎スケジュール



▲この問題については、本会議でいさ区議が、決算特別委員会で浦野が区の姿勢を質しました



▲現在、建設中の区役所新庁舎

生活保護はみんなの権利

コロナ禍、2020年の生活保護申請は**2019年比の約20%増**となりました。完全失業率が2020年で2.8%（2019年と比較して0.4%増）となったことを鑑みれば当然です。さらに、2021年5月には3%となり、新型コロナの影響で**雇用情勢の悪化が長期化**していることがうかがえます。同時に、2021年度の有効求人倍率は、1.09と低い状況が続いており、これまで給付金や支援金でなんとか生活をしのいできた方も、就職先が見つからなければ、さらに大変な状況となります。

しかし、いま支援を必要としている方に、制度が十分に行き届いていないと感じます。様々なバッシングや偏見で、「生活保護を利用することだけは絶対に嫌」と言う方も少なくありません。行政として、「**生活保護はみんなの権利**」と積極的に発信することが重要です。札幌市、野洲市、枚方市などでは、写真のようなポスターを作成しています。野洲市ではチラシにして全戸にポスティングをしています。中野区に対しても、「積極的な発信や周知」「制度をより正しく伝えるための工夫」などを議会の質疑で求めました。



▲滋賀県野洲市が作成したポスター。行政の姿勢としてとても大切です

生活保護ケースワーク業務の外部委託は見直し ケースワーカー体制の充実を

中野区では、65歳以上で生活保護を利用している方の約半分（1650世帯）が「高齢者居宅介護支援事業」として、外部に委託されています。本来おこなわれるべき**正規ケースワーカーによる家庭訪問がほとんど実施されていない**など、実態として「**生活保護ケースワーク業務の外部委託**」となっている問題を、昨年より繰り返し取り上げてきました。また、8月末には、生活保護問題対策全国会議の調査団が中野区に対し、改善を求める要望書を提出しました。同時に東京都と厚労省に対し中野区への特別監査を要請しました。区がこの事業

を導入した背景には、前区政時代の職員大幅削減（3000人から2000人に削減）が挙げられます。ケースワーク業務の外部委託は**生活保護法や社会福祉法上**も認められておらず、正規ケースワーカーの増員が急務です。

家庭訪問は少なくとも年2回おこなうことが義務付けられており、ケースワークの基礎となります



この問題を
まとめたブログ



質疑動画



中野区でも補聴器助成を

聴力が低下した高齢者の早期からの補聴器使用は認知症予防にも有効とされており、聞こえに関する支援は東京23区内でもここ数年で急速に広がっています。助成額や要件に差異はありますが、すでに**14区で補聴器支援を実施**。あらたに**3区が来年度以降の実施を検討**しています。こうした中、区議会に対し、補聴器助成の創設などを求める陳情が提出されていました。しかし、**反対多数で陳情は不採択**に。大変、残念な結果ですが、引き続き、粘り強く議会に取り上げていきます。

▶日本共産党都議団報告



23区での
補聴器支援の広がり

2019年
8自治体

拡大中

2021年
14自治体

商工会館跡地について

2019年3月末に廃止となった商工会館（新井1丁目）について、現在、中野区はサウンディング型市場調査を実施し、民間活力の導入も含めた利活用を検討しています。民間部分については「住宅用途」として区の財政負担なく施設整備が可能と具体的な提案がされています。日本共産党区議団は「安易な売却はせず、区民の方々からも意見を十分に聞いた上で有効な活用を」と提案してきました。商工会館は、前区長のもとで売却方針が示されていましたが、現区長が見直しを検討してきました。需要の高い会議室機能について、区は「設けていく」との姿勢を示しています。今後、具体的な方針が示される予定です。



2022年度予算 要望書提出

区民の皆さんから、日々、お寄せいただく声や区内団体の皆さんとの懇談を重ねながら作成した「2022年度中野区予算編成に対する要望書」を、10月8日、区長へ提出しました。

▶要望書全文はこちらから



区議会定例会の
お知らせ(予定)

11月25日(木)～12月10日(金)

- 本会議：11/25・26・29、12/10
- 常任委員会：12/1・2・3
- 特別委員会：12/6・7・8

